

報告事項

令和 7 (2025) 年度 事業報告について

令和7(2025)年度 事業報告

I. 総括

令和7年度は人口減少、物価高騰及び医療関係職種の処遇改善等を背景として、医療施設の経営が困難な状況が続いた。地方において医療提供体制の継続が一層困難になることが予測される中、新たな地域医療構想の中でも診療放射線技師の役割や配置について、将来を見据えた対策が急務となっている。

告示研修（令和3年厚生労働省告示第273号研修）は39,592名（うち医療施設従事者は33,085名）が実技研修を修了し、厚生労働省が5年間の目標として定めた目標に対して99.5%の達成率であった。令和7年度で全都道府県での開催は完了したが、基礎研修の申込者47,043名、基礎研修のみの修了者は42,296名であり、実技研修未受講者へ次年度以降の都市部での受講機会の確保を図る。

タスク・シフト／シェアの実施状況は年々拡大し、医師の働き方改革に一定の貢献を果たしている。一方で臨床現場での課題も明らかになった。厚生労働科研小坂班「臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師のタスクシフティング／タスクシェアリングの安全性と有効性評価」の最終報告ではCT検査やRI検査における課題について分担研究者として報告し、今後の課題解決について関係団体、省庁と協議を進める。

ワクチン筋注行為に関するオンデマンド講習及び実技講習会は実施表明をした都道府県において各イベント等で実施され、2,000名以上が修了し、年度末に向けても継続実施された。

診療報酬改定に向けては、医療情報システムの安全管理、医療DXの推進、医療被ばく認定施設の評価及び画像診断用ディスプレイの保守管理について具体的な評価項目を提示し、診療報酬上の評価の充実に要望した。

また、政策要望として、病院経営改善に向けた補正予算措置、原子力災害医療におけるALL JAPAN体制の実現、甲状腺簡易測定研修事業に対する支援の充実等を求める活動を行った。加えて、放射線治療におけるIMRTの施設基準緩和について要望し、その実現に至った。

第41回日本診療放射線技師学術大会は、福井県診療放射線技師会の協力のもと開催した。チーム医療

企画として、他の医療関係職種の講師を招き、多職種が参加しやすい体制づくりを進めた。

国際事業では、IAEAとの協力のもと、太平洋島嶼国の8か国17名の診療放射線技師を対象とした研修を、国際医療福祉大学の協力を得て実施した。

委員会・分科会の再編では、より高度な技術を目指す分科会について、承認学会として活動できる体制への見直しを行った。また、令和6年1月の能登半島地震の教訓を踏まえ、災害時の医療支援人材対応システムの構築を進めるとともに、関係企業との協力体制について協議を行った。

予防医療分野では、「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」において胸部X線検査の省略が検討されたが、関係団体との連携を通じ、感染症予防の観点からその重要性が再認識され、継続実施となった。生殖腺防護鉛シールド使用廃止に関する啓発については、整形外科関係学会における講演等を通じて周知に努めた。

さらに、全国診療放射線技師教育施設協議会との定期懇談会において、今後の臨床実習評価法等について共有したほか、放射線診療4団体連絡協議会、日本放射線技術学会、日本画像医療システム工業会、日本臨床衛生検査技師会との定期懇談会においても、諸課題を共有し意見交換を行った。

少数ではあるものの、報道等にある診療放射線技師による不祥事については、真摯に受け止める必要がある。今後は、倫理観のさらなる向上に向けた取組を強化し、社会からの信頼回復に努めることが不可欠である。

II. 庶務報告

1.1 本会役員

会長	上田 克彦		
副会長	富田 博信	児玉 直樹	
	江藤 芳浩		
業務執行理事	江端 清和		
外部理事	豊田 長康	杉浦麻由美	
	鈴木 毅厚		
地域理事	富田 伸生	鈴木 幸司	
	後閑 隆之	柳澤 直樹	
	界外 忠之	後藤 吉弘	

	木口 雅夫	西小野昭人
全国理事	中村 泰彦	菊地 克彦
	木暮 陽介	高橋 俊行
	川守田 龍	武藤 裕衣
	園田 優	小林 聖子
監 事	小川 清	中村 勝
外部監事	梅本 啓	

1.2 会議開催状況

(1) 総会

1) 定時総会

第88回定時総会を2025年6月14日(土)、本会事務局において代議員216名のうち、216名(議決権出席含む)のもとWeb形式により開催した。

(2) 理事会

2025年度は6回開催し、重要案件など審議決定した。

開催日	会議名
2025/5/15	第1回理事会
2025/5/24	第2回理事会
2025/7/19	第3回理事会
2025/10/4	第4回理事会
2025/12/6	第5回理事会
2026/2/21	第6回理事会

(3) 役員会議

本会役員による会議を行った。

運営会議(業務執行理事等) 24回

(4) 各種委員会

下記委員長の下、精力的な委員会活動が行われた。

1) 独立委員会

- ①選挙管理委員会 (茂木大志) 1回
- ②総会運営委員会 (石浦幸成) 9回
- ③表彰委員会 (安田鋭介) 4回

2) 常設委員会

- ①総務委員会 (園田 優) 2回
- ②財務委員会 (江端清和) 4回
- ③編集委員会 (木口雅夫) 26回
- ④広報委員会 (園田 優) 12回
- ⑤会員情報システム委員会 (園田 優) 18回
- ⑥倫理委員会 (武藤裕衣) 2回
- ⑦調査委員会 (後藤太作) 8回
- ⑧定款改正・諸規程見直し委員会 (西小野昭人) 5回
- ⑨医療被ばく安全管理委員会 (鈴木賢昭) 5回
- ⑩主任者定期講習運営委員会 (野口幸作) 8回

- ⑪学術教育委員会 (川守田龍) 30回
- ⑫国際委員会 (柴田英輝) 3回
- ⑬診療報酬政策立案委員会 (江端清和) 5回
- ⑭医療安全対策委員会 (高橋俊行) 6回
- ⑮災害対策委員会 (界外忠之) 2回
- ⑯入会促進委員会 (江端清和) 7回
- ⑰人材育成委員会 (高橋俊行) 7回
- ⑱臨床実習指導教育委員会 (中村泰彦) 5回
- ⑲診療放射線技師国家試験問題評価委員会 (武藤裕衣) 1回
- ⑳地域委員会(全国地域連絡協議会および地域連絡協議会/地域理事会議) (界外忠之) 19回
- ㉑チーム医療推進委員会 (西小野昭人) 3回
- ㉒業務拡大推進委員会 (菊地克彦) 4回
- ㉓学術大会運営委員会 (鈴木幸司) 22回
- ㉔認定資格委員会 (菊地克彦) 4回
- ㉕がん対策委員会 (根本幹央) 14回
- ㉖STAT画像所見報告委員会 (木暮陽介) 5回
- ㉗検査説明委員会 (小林聖子) 3回

3) 特別委員会

- ①記念式典準備委員会 (堀住雄策) 1回
- ②JART-JSRT協力体制推進特別委員会 (富田博信) 5回
- ③カリキュラム検討委員会 (武藤裕衣) 1回

4) 分科会

- ①放射線機器管理士分科会 (加藤豊幸) 4回
- ②放射線管理士分科会 (吉田篤史) 2回
- ③医療画像情報精度管理士分科会 (坂本 博) 6回
- ④オートプシー・イメージング分科会 (小林智哉) 2回
- ⑤臨床実習指導教員分科会 (中村泰彦) 4回
- ⑥画像等手術支援分科会 (平野 透) 2回
- ⑦放射線被ばく相談員分科会 (五十嵐博) 1回
- ⑧災害支援診療放射線技師分科会 (中田正明) 2回

1.3 本会が参加加盟等している組織

1.3.1 国内関係

- (1)(財)日本医療機能評価機構
- (2)(財)医療研修推進財団
- (3)日本医療技術者団体連絡協議会
- (4)チーム医療推進協議会
- (5)国民医療推進協議会
- (6)被災者健康支援連絡協議会
- (7)医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME)
- (8)医療の質・安全学会
- (9)(財)医療機器センター
- (10)画像診断コンソーシアム

- (11) 医療経営教育協議会（高度医療教育コンソーシアム）
- (12) (財) 医療関連サービス振興会
- (13) (財) 結核予防会
- (14) 日本規格協会
- (15) 日本放射線治療専門放射線技師認定機構
- (16) 放射線治療品質管理機構
- (17) 日本核医学専門技師認定機構
- (18) 日本磁気共鳴専門技術者認定機構
- (19) 日本X線CT専門技師認定機構
- (20) 日本救急撮影技師認定機構
- (21) 日本血管造影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構
- (22) 医療安全全国共同行動
- (23) 日本薬膳学会
- (24) 日本社会医療学会
- (25) がん対策推進企業アクション
- (26) 日本医療安全調査機構
- (27) 日本学術会議
- (28) 医療放射線防護連絡協議会

1.3.2 国際関係

- (1) 世界放射線技師会（ISRRT）
- (2) 国際専門放射線技師認定機構
- (3) アジア・ファンド

1.4 表彰

表彰委員会より答申を受け、2026年2月21日に第6回理事会にて以下のとおり承認された。

地区役員等の功労表彰 24名
 永年勤続50年表彰 51名
 永年勤続30年表彰 313名

1.5 物故者

2025年4月1日より2026年3月31日までにご逝去された会員は下記のとおり。

ID	所属	氏名
1	北海道	吉川 忠義
2	北海道	足立 晋
3	青森県	西谷 衛
4	福島県	片倉 俊彦
5	茨城県	(匿名希望)
6	茨城県	(匿名希望)
7	群馬県	中村 文彦
8	埼玉県	加藤 則和
9	埼玉県	(匿名希望)
10	東京都	横田 久男
11	東京都	北村 善明
12	東京都	小堺 重信

13	東京都	南雲 信幸
14	東京都	平松 雅樹
15	東京都	市川 浩三
16	東京都	加藤奈美江
17	神奈川県	氏家 盛通
18	長野県	(匿名希望)
19	石川県	越田 吉郎
20	富山県	中井 雄紀
21	福井県	土谷 重男
22	福井県	上野 敏司
23	静岡県	新村 秀俊
24	愛知県	佐藤 稔
25	愛知県	毛利 岩雄
26	滋賀県	(匿名希望)
27	京都府	(匿名希望)
28	京都府	(匿名希望)
29	京都府	(匿名希望)
30	京都府	(匿名希望)
31	奈良県	(匿名希望)
32	大阪府	広田 秀雄
33	兵庫県	橋本 勝昭
34	広島県	岡田 秀朗
35	鳥取県	(匿名希望)
36	愛媛県	宮本 良仁
37	福岡県	柴田 清秀
38	福岡県	井上 友紀
39	長崎県	貝原 侑樹
40	鹿児島県	(匿名希望)

(敬称略)
 (2025年度物故者数：40名)

1.6 会員の動向

1) 会員数の推移

月	2024年度会員数	2025年度会員数	対前年度増減
4	32,592	33,354	762
5	32,917	33,579	662
6	33,201	33,789	588
7	33,519	33,999	480
8	33,789	34,168	379
9	33,973	34,272	299
10	34,126	34,371	245
11	34,221	34,409	188
12	34,291	34,398	107
1	34,270	34,307	37
2	34,186	34,041	△145
3	33,404	33,272	△132

2) 入会者の推移 (月別入会者数)

月	2024年度 入会者数 (月別)	2025年度 入会者数 (月別)	対前年度増減
4	162	190	28
5	360	247	△113
6	296	236	△60
7	336	236	△100
8	281	189	△92
9	207	156	△51
10	177	150	△27
11	123	97	△26
12	107	79	△28
1	69	61	△8
2	38	61	23
3	26	46	20
計	2,182	1,748	△434

3) 入会者の推移 (累計)

月	2024年度 入会者数 (累計)	2025年度 入会者数 (累計)	対前年度増減
4	162	190	28
5	522	437	△85
6	818	673	△145
7	1,154	909	△245
8	1,435	1,098	△337
9	1,642	1,254	△388
10	1,819	1,404	△415
11	1,942	1,501	△441
12	2,049	1,580	△469
1	2,118	1,641	△477
2	2,156	1,702	△454
3	2,182	1,748	△434

4) 会費完納者の推移 (累計)

月	2024年度 会費完納者数	2025年度 会費完納者数	対前年度増減
4	7,263	7,324	61
5	16,317	16,509	192
6	19,465	19,252	△213
7	21,441	21,197	△244
8	23,832	23,247	△585
9	25,235	24,651	△584
10	28,634	28,184	△450
11	29,005	28,630	△375
12	29,952	29,611	△341
1	31,048	30,724	△324
2	31,857	31,625	△232
3	31,969	31,782	△187

*上記は、収納代行会社より本会へ入金された月ごとの表。
(例：本人が3月に納入した場合、本会には4月に入金される。)

5) 会員資格喪失 (除籍) 者の債権回収状況

項番	項目	件数	金額
1	請求	2,029	22,628,000
2	回収	1,041	11,600,000
3	回収率%	51.3	51.2

Ⅲ. 事業報告

A: 診療放射線学及び診療放射線技術の 質の向上発展に関する事業

A.1 放射線診療に関する技術講習会の開催

A.1.1 診療放射線技師ラダー

(1) クリニカルラダーに関する事業

①学術教育委員会をWebで6回、対面で2回開催した。

第1回4月19日 (Web)

第2回5月14日 (対面)

第3回6月11日 (Web)

第4回8月6日 (Web)

第5回10月8日 (Web)

第6回10月28日 (理事会後臨時対面)
(学術・事務局)

第7回12月8日 (Web)

第8回2月4日 (Web)

その他事務局と14回実施した。

②クリニカルラダーのコンテンツ作成、確認のため各WGが会議を実施した。

MRI-WG: 4回

CT-WG: 2回

エックス線撮影WG: 7回

核医学WG: 2回

血管撮影・IVR-WG: 1回

超音波WG: 1回

放射線治療WG: 6回

予防医療WG: 6回

③クリニカルラダー Lv1～Lv5に関する事業を展開した。

1) クリニカルラダーLv1 講習会関連

シラバスおよびコンテンツの見直し検討
および作成と、オンラインにて全10科目を
開講した。(修了者7,502名)

2) クリニカルラダーLv2 講習会関連

①から⑫のシラバスおよびコンテンツの
見直し検討および作成と、オンラインにて
全11科目を開催し開講した。(修了者7,528
名)

①エックス線撮影 (CR, DR)

②エックス線CT検査

③MRI検査

④血管造影・IVR

⑤超音波検査

⑥放射線治療

⑦核医学検査

⑧乳房撮影

⑨消化管撮影

⑩眼底カメラ検査

⑪骨塩定量検査

⑫予防医療（未実施）

3) クリニカルラダーLv3 講習会関連

①から⑬のシラバスおよびコンテンツの見直し検討および作成と、オンラインにて開催するうち、2月時点でエックス線撮影、消化管撮影、乳房撮影、放射線治療、超音波検査、骨塩定量検査、検査説明について開講した。（修了者2,150名）

①エックス線撮影（CR、DR）

②エックス線CT検査（未開催）

③MRI検査（未開催）

④血管造影・IVR（未開催）

⑤超音波検査

⑥放射線治療

⑦核医学検査

⑧乳房撮影

⑨消化管撮影

⑩骨塩定量検査

⑪予防医療（検討および準備）

⑫死亡時画像診断検査（Lv3から除外）

⑬検査説明

4) クリニカルラダーLv4 講習会関連

シラバスおよびコンテンツ検討および作成と、下記①、②、③の講習会をオンラインで開催には至らなかった。また、Lv4の専門資格については、下記とした。

①エックス線撮影（CR、DR）

②乳房撮影

③超音波検査

Lv4の専門資格

- ・核医学専門技師（日本核医学専門技師認定機構）
- ・X線CT専門技師（特定非営利活動法人日本X線CT専門技師認定機構）
- ・磁気共鳴（MR）専門技術者（一般社団法人日本磁気共鳴専門技術者認定機構）
- ・救急撮影認定技師認定者（日本救急撮影技師認定機構）
- ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師（一般社団法人日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構）
- ・放射線治療専門放射線技師（一般社団法人日本放射線治療専門放射線技師認定機構）

構）

- ・放射線治療品質管理士（一般社団法人放射線治療品質管理機構）

5) クリニカルラダーLv5 講習会関連

シラバスおよびコンテンツの検討および作成と、オンラインにて開催を検討した。

（2）マネジメントラダーに関する事業

職場や職能団体におけるミドルマネージャーからトップマネージャーまでを対象とし、マネジメントラダーに沿った管理職として必要な講習会（Web）をレベル別に開催した。オンライン学習コンテンツに関して見直しを行った。

A.1.2 放射線取扱主任者定期講習会

原子力規制委員会にて登録された「登録放射線取扱主任者定期講習機関」として、放射線取扱主任者定期講習を年3回開催した。

10月17日（金）12名

12月19日（金）33名

2月20日（金）32名

原子力規制委員会の立入検査が10月8日（水）にあり、指摘、改善事項はなかった。本会の講習会はディスカッションを含み、活発な意見交換がなされていることで優良事例として評価された。

登録放射線取扱主任者定期講習機関として、原子力規制委員会に更新手続きを行った。

オンライン開催に関して、この講習会の性質とシステム構築等の問題があり、時期尚早と判断した。

A.1.3 診療放射線技師の資質向上のための事業

（1）フレッシューズセミナーの開催

47都道府県の各診療放射線技師会と連携し、新人の診療放射線技師を対象として「フレッシューズセミナー」を開催した。内容については一部見直しを検討し、各都道府県で1回以上の開催を計画し、合計48回の開催を予定した。令和7年度は47都道府県で実施され、受講者数は合計1,178名であった。

（2）その他、放射線診療の資質の向上に関する講習会の開催

①生涯教育に関して、各クリニカルラダーレベルの維持講習会の検討および開催し、クリニカルラダーレベル1（10科目）、クリニカルラダーレベル2（11科目）、クリニカルラダーレベル3（7科目）を開講した。

②質の向上に必要な講習会（Web講義形式、Web・対面・Web+対面のハイブリッド実技

講習)について検討し、実施した。

- ・消化管撮影WGにて 6月20日 2025年度 消化管造影セミナー開催。(修了者103名)
- ・エックス線撮影WGは、6月28日 第1回 エックス線撮影WGハンズオンセミナー(ハイブリッド)開催。(会場修了者10名 Web修了者108名) 1月20日 第2回 エックス線撮影WGセミナー Web開催。(修了者56名)。2月6日 2025年度 第3回 エックス線撮影WGセミナー Web開催した。(修了者114名)
- ・放射線治療WGは、9月28日 第1回 IGRT Web セミナー 開催。(修了者140名) 11月1日 生涯教育ハンズオンセミナー(ハイブリッド)開催。(修了者会場9名 修了者Web 68名)。

1月17日 生涯教育セミナー(放射線治療計画・応用編)開催。(修了者67名) 2月22日 放射線治療WG生涯教育セミナー(SGRT実践編)(ハイブリッド)を開催。(修了者会場8名 修了者Web 61名)

- ③他団体、他組織と協力して講習会を開催した。
 - ・11月16日 がん対策委員会と放射線治療WGにより、「治療を「選ぶ」医療へ～Shared Decision Making (SDM)に関わるには～」医師、看護師、診療放射線技師、一般財団法人がん医療の今を共有する会(ACT)による多職種共同セミナー開催。(修了者43名)
- ④第41回日本診療放射線技師学術大会にてがん対策委員会と共催にてシンポジウムを開催した。
- ⑤獣医療に関する放射線機器および従事する人の放射線被ばく等に関する調査事業はまず、地域獣医師会(埼玉県獣医師会)より情報収集し、日本獣医師会との関係構築を行ってから調査事業を行うことになった。現在、現状埼玉県獣医師会への面会日程を調整中である。また、現状を共有するため、診療放射線技師が従事している獣医療に状況を会誌に掲載する準備をした。
- ⑥その他の分科会、委員会の講習会を開催した。

A.2 レントゲン週間イベント等一般向け診療放射線技術の啓蒙

A.2.1 レントゲン週間イベントの開催

レントゲン週間イベントで使用するグッズについて検討した。22地区技師会で共催(助成金・ノベル

ティグッツ)し、後援(ロゴ申請)のみが1地区あった。

A.2.2 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会合同学術セミナーの開催

日本放射線技術学会(JSRT)と共催で、一般市民向けに診療放射線技術に関する事業を展開した。今回は、JSRT担当となり、9月28日(日曜日)愛知県にて開催した。(参加者229名そのうち一般164名)

A.3 診療放射線業務の評価及び改善に関する事業

A.3.1 診療放射線業務に関する調査

- (1) 令和8年度診療報酬改定に伴う要望調査を行い厚生労働省医政局医療課長に令和8年度診療報酬改定要望書を提出した。また、第41回日本診療放射線技師学術大会にて診療報酬政策に関する知識の普及と啓発活動を放射線管理士分科会と合同で行った。長期的視点にたった診療報酬政策要望の取りまとめを行うために委員会を開催し、必要な調査について議論した。
- (2) 診療放射線技師業務に関する調査を実施し、放射線業務等の実態調査、分析等に関する事業を実施する。
 - ①医療画像情報精度管理士分科会、X線撮影WGのアンケート調査について鏡文を含め内容確認を行い、より効率的かつ有効な調査になるよう修正を行った。
 - ②『ベースアップ評価料等の実態調査』を実施し、調査分析レポートをJART Plusに公開した。
 - ③研修会の内容、開催日時、講師の選定などを検討し、2026年5月の開催を決定した。

A.3.2 診療放射線技師業務の拡大に関する事業

- (1) 統一講習会の開催(2015研修)
 - 平成26年6月の診療放射線技師法の一部改正に伴う業務拡大に伴う統一講習会を2回実施し60人受講した。
- (2) 診療放射線技師の業務拡大に伴う告示研修会の開催(告示研修)し、実技研修は229回実施した。(7,017名受講)
- (3) 新たな注射行為に対する研修の開催に関する事業を実施した。(実技研修2,320名受講)
- (4) かねてより要望していた介護支援専門員(ケアマネージャー)受験資格付与について、厚生労働省 第127回社会保障審議会介護保険部会

にて介護支援専門員（ケアマネージャー）受験資格が診療放射線技師を含む5職種に拡大することが承認された。次の国会にて法律改正が承認されれば、次の試験より受験可能となる予定。併せて、同介護保険部会では更新年数も現行の3年から5年への延長も承認された。

A.3.3 診療放射線技師国家試験問題の評価

診療放射線技師養成教育カリキュラムと照らし合わせ、適正な国家試験問題が作成されているかを評価し、関連機関に発信する事業を展開した。また、国家試験作成委員の構成員数が適正であるかを評価した。

A.3.4 診療放射線技師学校養成所指定規則の改正に向けた取り組み

診療放射線技師学校養成所指定規則の改正および診療放射線技師養成所指導ガイドラインの改訂に向けて全国診療放射線技師教育施設協議会との協議を進めた。

A.4 がん医療と予防医療に関する事業

A.4.1 予防医療に関する事業

- ①予防（検診/健診）医療事業を展開するためのワーキンググループの発足を行い、人材育成事業について検討した。6回のWG会議を行い、クリニカルラダーレベル2、3のe-ラーニングについて検討し作成した。
- ②がん対策委員会の事業に協力し、がん対策委員会と共催にて第41回日本診療放射線技師学術大会シンポジウムを開催した。11月16日がん対策委員会と放射線治療WGにより、多職種共同セミナーを開催した。

A.4.2 がん医療に関する事業

- (1) 2025年度がん医療の均てん化に向けた放射線治療セミナー（基礎編）を、2026年1月25日にWebにて開催した。
- (2) 2025年度がん対策委員会Webセミナー「治療を“選ぶ”医療へ～Shared Decision Making (SDM)に関わるには～」を、2025年11月16日にWebにて開催した。

A.4.3 がん対策シンポジウムの開催

- (1) 第41回日本診療放射線技師学術大会において、山梨大学の大西洋教授を講師に迎え、肺がんにおける診断から治療までの戦略について講演いただき、奥村委員による治療計画の

留意点を加えたシンポジウムを実施した。

- (2) (1) シンポジウム講師に山梨大学の大西洋先生に講演いただいた。
- (3) 学術教育委員会放射線治療WGと本テーマの事業について準備を行った。講師にはJSRT叢書の執筆者を迎え、第1回目のIGRT Webセミナー（2025年9月25日）を開催した。

A.4.4 がん対策に関する学術教育事業の協力

- ①A.4.3 (3) にて協働作業を実施している。
- ②全4回掲載済した。
 - ・8月号：リニアック標準計測法24導入のための要点と留意事項。
 - ・11月号：放射線治療における呼吸性移動とインタープレイ効果の系統的レビュー。
 - ・1月号：リニアック校正に関するメーカの対応。
 - ・3月号：日本における放射線治療の業務量と教育環境に関する文献レビュー

B：診療放射線学に関する研究と啓発に関する事業

B.1 学術大会の開催

B.1.1 学術大会の開催

- (1) 第41回日本診療放射線技師学術大会が福井県AOSSA他にて2025年9月12日（金）から14日（日）までの3日間で盛会に開催された。（オンデマンド配信は2025年9月22日（月）から11月30日（日）まで）
 - ・参加登録 1,913名（オンデマンドのみ 396名）
 - ・会場参加 2,753名（1日目 1,002名、2日目 1,045名、3日目 706名）
 - ・オンデマンド参加 646名
- (2) 第41回日本診療放射線技師学術大会福井大会会場にて第42回日本診療放射線技師学術大会山形大会のPR活動を行った。大会実行委員との合同会議を毎月1回開催した。
- (3) 地域学術大会の開催
 - ・2025年度 北海道地域学術大会を11月22日（土）、23日（日）に札幌医科大学で開催した。
 - ・令和7年度 東北地域学術大会を10月11日（土）、12日にリンクステーションホール青森で開催した。
 - ・2025年度関東甲信越診療放射線技師学術大会を7月5日（土）、6日（日）にパシフィコ

横浜で開催した。

- ・第17回中部放射線医療技術学術大会を11月15日、16日（日）に鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスで開催した。
 - ・令和7年度 近畿地域診療放射線技師会学術大会を令和8年2月15日（日）に京都府民総合交流プラザで開催した。
 - ・第33回 中四国診療放射線技師学術大会を11月22日（土）、23日（日）にサンポートホール高松で開催した。
 - ・第20回九州放射線医療技術学術大会を11月1日（土）、2日（日）にカクイックス交流センターで開催した。
- （4）学術大会のスリム化に向けた大会運営の見直しを進める。
- ①日本診療放射線技師学術大会運営システム（JMS）が第41回日本診療放射線技師学術大会より運用を開始した。
 - ②JMSに発表資料の事前登録とオンデマンド配信機能（PDF、動画）が追加され、第41回日本診療放射線技師学術大会より運用を開始した。

B.2 業界誌等の発行

B.2.1 定期刊行物の発行

- （1）会誌「JART」の発行
- ①診療放射線技術学に関する学術論文や資料および最新の技術動向等を掲載し、会員への啓発を図った。
 - ②学術論文出版のために投稿論文を審査・査読し、発刊に向けた支援をした。
 - ③各事業の円滑な展開を目的に本会の方針や今後の方向性を示す月刊誌「JART」を毎月1回発行した。
 - ④英文誌「JART」を6月に発行した。
 - ⑤論文特集号の発刊は、投稿件数が少ないため発刊していない。
 - ⑥英文誌のPMC登録申請の準備を進めた。
 - ⑦英文誌論文投稿システムの改修、運用を行った。
 - ⑧情報誌「Network Now」の発行
タイムリーな情報発信としてNetwork Nowを毎月1回電子化にて発行した。また、Web等配信方法について広報委員会と連携してSNSを通じて広報した。
 - ⑨会誌「JART」の連載企画、誌上講座のバックナンバーコンテンツについて電子化配信方法を検討した。閲覧可能な運用までには至っていない。

B.2.2 ホームページによる情報提供

- （1）情報誌「Network Now」及び、会誌「JART」の電子配信（eブックの配信を行い、必要な情報提供を行った。
- （2）生涯教育や認定資格など利用者がアクセスしやすいように改善を行った。
- （3）Webサイトの保守管理や整備を継続した。
- （4）旧Webサイトは閉鎖し、英語版サイトについては、パソコンなどの翻訳機能の充実により一時閉鎖し、再検討することになった。

B.2.3 入会促進パンフレットの作成・配布

- 養成校、日本放射線技術学会、その他関連団体等と協力・連携し、入会促進に関する事業を行った。
- （1）令和7年度養成校卒業生に対し配布する入会促進冊子の内容について確認を行い、令和7年度以降にふさわしい記載内容に編集し配布を行った。
 - （2）既卒者用の入会促進パンフレットの確認・編集を行い、修正変更を加えて印刷・配布を行った。
 - （3）その他、ホームページ掲載の入会案内、再入会ページの記載内容をより入会しやすくなるよう修正を行った。また、各地区技師会の入会案内に関するホームページの掲載内容を令和7年7月と令和8年1月に調査し、掲載内容の更新依頼を行った。

B.2.4 その他、必要な編集・広報事業

- （1）メールマガジンの配信を継続し、QRコード、画面構成など見直しを行い会員の利便性を向上させた。また、次期、会員情報システムにWebサイトとSNSを連携できるように検討をした。
- （2）ITEM（国際医用画像総合展）に出展し、約500名の方の対応を行った。本会の事業を広く周知した。
- （3）創立80周年記念事業に関わる歴史編纂事業のためワーキンググループを発足し会議を行った。
- （4）新たなソーシャルメディアとしてLINE、Instagramのアカウントを作成し広報した。
- （5）倫理に関する広報
第41回日本診療放射線技師学術大会において「学術研究に関する倫理規程ガイダンス」を広く周知した。診療放射線技師の倫理・規範意識向上について、学術大会等で幕間に倫理啓発スライドを投影する等し注意喚起を行った。学術教育委員会と連携し、第41回日

本診療放射線技師学術大会の演題倫理審査を行った。

- (6) その他、診療放射線技師に必要な広報に関する事業を広く行った。

B.3 委託研究、課題研究の公募

B.3.1 学術研究助成金に関する事業

診療放射線学に関する研究と啓発を行うため、本会の『学術研究助成金取扱規程』に基づいて一般公募を行い、2025年度の助成金は、8名の応募者に対して学術委員会にて審査した結果、3名の応募者に対して助成することを決定し本会が必要とする研究の委託を行った。

2026年度は6名の応募者に対して学術委員会にて審査した結果、1名の応募者に対して助成することを決定した。

C：放射線診療学の安全確保に係る事業

C.1 放射線診療における安全確保のための講習会、セミナーの開催

C.1.1 医療安全の推進に関する事業

- (1) 放射線部門における安全管理の推進

- ①インシデント・アクシデント事例集の収集は終了し雑誌掲載準備まで完了した。
- ②医療安全管理者養成研修はオンデマンド講習を行い、実習はライブ形式で実施した。
- ③医療放射線安全管理責任者養成講習会をオンデマンドにて実施し、410名が修了した。
- ④医療安全に関する勉強会の検討を委員会で行った。

- (2) 医療機器安全管理の推進

- ①公益財団法人医療機器センターの事業に参加し、資料作成に対し意見を述べた。
- ②画像診断用ディスプレイ精度管理セミナーをJIRAと共同して9月6日（土）に開催し、48名が参加した。

- (3) 医療事故調査支援

令和7年度は重大な医療事故は発生しておらず、執行部からの指示もないため、事故調査委員会は実施されなかった。

- (4) 医療情報システムの安全管理

公益財団法人医療機器センターの事業に参加し、資料作成に対し意見を述べた。

- (5) その他医療安全の推進

第41回日本診療放射線技師学術大会におい

て医療安全に関するシンポジウムを開催した。

C.1.2 臨床実習施設に関する事業

- (1) 臨床実習指導施設について更新5件、新規3件を審査、承認した。
- (2) 臨床実習指導項目を改定し、Webサイトに掲載した。
- (3) 臨床実習評価方法を検討し、ループリック評価を用いた臨床実習評価方法を策定し、Webサイトに公開した。

C.2 放射線被ばく低減に関する事業

C.2.1 医療被ばく低減施設認定事業

- (1) 新規・更新共に審査の休止により待機をお願いしていた施設から優先的に再開し、新規5施設、更新29施設の認定を行った。
- (2) 第41回日本診療放射線技師学術大会において、認定取得の意義や暫定審査方法に関するシンポジウムを開催した。

C.2.2 サーベイヤー養成講習会

訪問審査に同行し実務経験を積むことにより、5名がサーベイヤーへと昇格した。

C.2.3 医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME)への協力

- (1) DRLs2025改訂ワーキンググループに人員を派遣し、改訂作業に協力した。
- (2) JRCにおいて行われた総会にてDRLs2025改訂内容が確定され、本会Webサイト等において広報した。

C.2.4 生殖腺防護における鉛シールド廃止

- (1) 2025 JRCに広報用ポスターの作成及び配布を行った。また、幕間スライドを作成し広報した。
- (2) 2025 JRC, ITEMにて広報用ポスターの配布及び各団体のWebサイトにて広報を行った。

C.3 原子力災害等に関する事業

C.3.1 原子力災害に関する災害訓練参加の事業

- (1) 放射線被ばく防止に関する包括的相互協力協定に基づき、鳥根県原子力災害訓練に参加した。
- (2) 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する協定の一環として兵庫県診療放射線技師会主催、第18回原子力災害医療研修会（神戸市）

に参加し、「原子力災害に備える診療放射線技師の役割～日本診療放射線技師会の取組み」をテーマに講演を行った。

- (3) 今年度、佐賀県原子力災害訓練等は開催されなかった。

C.3.2 災害対策関連の事業

- (1) 原子力災害医療協力機関として、原子力規制庁、量子科学技術研究開発機構、各地域・地区技師会と協力し、甲状腺簡易測定研修を熊本県、大分県、京都府、静岡県、東京都、北海道で実施した。
- (2) 第41回日本診療放射線技師学術大会で災害対策委員会/災害支援認定診療放射線技師分科会合同企画を「被災経験に基づく放射線部門の災害対策」をテーマとしてシンポジウムを開催した。
- (3) 災害支援登録診療放射線技師制度の運用を推進し、延べ377名の登録者となった。

C.3.3 サーベイメータの保守管理

保有する6台のサーベイメータのうち、3台の校正を行った。

C.4 医療職種における職種境界業務調整の推進

C.4.1 医療関連職能団体との推進に関する事業

- (1) 第41回日本診療放射線技師学術大会でチーム医療推進協議会と協同し、「認知症診療におけるチーム医療と画像診断技術の展望」についてシンポジウムを開催した。
- (2) STAT画像所見報告の推進を図った。
- ①第41回日本診療放射線技師学術大会にて、STAT画像所見報告に関するシンポジウムを実施した。(9月14日)
- ②Webセミナーを3回開催した。
(11月7日、12月2日、2026年1月26日)
- ③Webセミナーの録画(2024年度4回分)をJART Plus(JART会員無料コンテンツ)にて公開した。
- ④STAT画像所見報告学習システムの充実を図るため症例追加を進めた。
- (3) 放射線検査説明の推進をはかる
- ①地域学術大会等にて検査説明の周知に係る講演会・シンポジウムの開催として日本放射線技術学会北海道支部学術大会第81回春季大会、第41回日本診療放射線技師学術大会、第15回東北放射線医療技術学術大会、令和7年度画像研修会(生活習慣病検診等従事者指導

講習会)で講演・シンポジウム開催をした。

- ②検査説明に関する動画コンテンツの企画・作成を行い広く周知することとして、検査説明動画の多言語化(英語・中国語_繁体字・中国語_簡体字・韓国語)をWebサイトにて一般向けに公開した。また、文科省より依頼された小学生向け放射線啓発動画2編をWebサイトにて公開した。
- ③検査説明ガイドライン、指針の改定案を作成済み、次年度公開に向けて引き続き準備を進める。
- ④検査説明動画視聴後アンケートの積極的な広報のため倫理承認済み。
- (4) チーム医療の現状などを調査するためのアンケート内容について検討した。

C.4.2 医療関連団体との協同

本会の事業を推進するための事業を医療関係団体と共に協同し活動する。

- (1) 放射性医薬品取扱いガイドライン講習会を関連団体と共同して8、9月と2、3月にオンラインにて開催した。
- (2) P-METが実施する実習指導者養成講習会および新人教育へ協力した。

C.5 放射線診療に関する相談事業

C.5.1 放射線検査説明相談促進

今年度、放射線検査に関する相談実績はなかったが、将来的な対応強化を目的として被ばく相談分科会との連携体制を整備した。

被ばく相談分科会委員に検査説明委員を兼務いただくことで、検査説明と被ばく相談を一体的に行える体制を構築した。

C.5.2 放射線被ばく相談に関する事業

医療被ばく個別相談センターにて35件の相談対応を行った。

D：診療放射線技師の生涯教育に関する事業

D.1 認定資格に関する事業

生涯教育事業の達成目標を明確にし、生涯教育事業を推進するための講習会を開催した。

D.1.1 認定資格の取得と更新に関する事業

診療放射線技師に必要とされる生涯教育の変化に対応し、認定資格の更新をe-ラーニングに統一し、

認定資格試験は全国会場型CBT試験を実施した。
1,352名が認定資格を取得した。

クリニカルラダーレベル3に認定資格を取り入れ
生涯教育システムを充実、広報した。また、各分科
会と連携し、会員への生涯教育継続を推進した。

D.1.2 分科会による認定資格に関する事業

(1) 放射線機器管理士分科会

- ①認定講習会をオンデマンド形式で開催した。
- ②認定試験を実施した。
- ③認定試験問題を作成した。
- ④今年度は地域主催における実技型講習会の開催ができなかったが、次年度のWeb開催に向けての検討を行った。
- ⑤放射線関連機器に関する保守管理の調査については、アンケート協力施設の大幅な減少を踏まえ、調査の必要性が低いと判断し、本年度は実施を見送った。
- ⑥第41回日本診療放射線技師学術大会にて診療報酬政策立案委員会との合同企画にてシンポジウムを開催した。

(2) 放射線管理士分科会

- ①認定講習会をオンデマンド形式で開催した。
- ②認定試験を実施した。
- ③認定試験問題を作成した。
- ④地域学術大会で会場型講習会の依頼はなかった。
- ⑤第41回日本診療放射線技師学術大会にてシンポジウムを開催した。
- ⑥ホームページの委員情報、内容を確認した。
- ⑦必要に応じ認定資格コンテンツの更新を検討した。

(3) 医療画像情報精度管理士分科会

- ①認定講習会をオンデマンド形式で開催した。
- ②認定試験をCBTで行った。
- ③認定試験問題の更新を行った。
- ④認定更新講習会をオンデマンド形式にて開催した。
- ⑤医療画像情報精度管理士セミナー（サイバーセキュリティ）をオンラインにて開催した。
- ⑥第41回日本診療放射線技師学術大会において画像診断用ディスプレイに関するシンポジウムを開催した。
- ⑦認定資格試験用のコンテンツを検討した。
- ⑧アンケート（画像診断用ディスプレイ）を作成した。

(4) オートプシー・イメージング（Ai）分科会

- ①次年度の認定事業移行に伴い今年度は見送った。

- ②更新審査をオンデマンド開催し、更新審査を行った。

- ③日本オートプシー・イメージング技術学会へ移行作業が完了した。

- ④学会へ移行にあたり、会員・認定技師取得者へWebサイトや会誌を用いて周知し、移行後の次年度地域学術大会でも周知できるように手配した。

- ⑤令和7年12月6日に承認され、令和8年2月5日に公開された。

(5) 臨床実習指導教員分科会

- ①認定講習会をオンデマンド形式で開催した。（6月23日～1月27日まで）
- ②臨床実習指導教員の認定試験をCBT方式で8月より開始した。
- ③認定試験問題を作成した。
- ④認定更新講習会をオンデマンド形式で開催した。
- ⑤臨床実習指導教員オンライン学習の認定資格コンテンツを更新の検討を行った。
- ⑥臨床実習評価としてループリック評価を用いた方法を検討し、臨床実習指導教育委員会へ答申した。

(6) 画像等手術支援分科会

- ①認定講習会をオンデマンド形式で開催するとともにコンテンツを作成した。
- ②画像等手術支援認定診療放射線技師の認定試験をCBT方式で8月より開始した。
- ③試験問題作成を対面で行った。（5月18日）
- ④認定更新講習会をオンデマンド形式で6月より開始した。
- ⑤第41回日本診療放射線技師学術大会においてシンポジウムを開催した。（9月12日）
- ⑥画像等手術支援分科会単独での3次元画像作成技術育成ハンズオンセミナーを2回開催した。（9月28日、2026年1月18日）
- ⑦手術支援画像作成に有用な一般会員向けのWebコンテンツとして第41回日本診療放射線技師学術大会のシンポジウム、更に2025年度の2回開催したハンズオンスキルアップセミナーの動画を作成した。

(7) 放射線被ばく相談員分科会

- ①認定講習会をオンデマンド形式で2回開催した。
- ②認定試験を実施した。
- ③認定試験問題を作成した。
- ④認定更新講習会をオンデマンド形式で開催した。
- ⑤放射線被ばく相談員フォローアップ講習会を

1 回開催した。

⑥第41回日本診療放射線技師学術大会においてシンポジウムを企画したが、不採択であった。

⑦認定者が困難な事例に対応する際に、上級者が助言を提供するためのシステム（スーパービジョン）構築を検討した。

（8）災害支援診療放射線技師分科会

①他の認定資格と同様に講義動画（12講義）を作成し、eラーニング（オンデマンド）にて認定講習を開催した。

②試験問題（90問）を作成し、CBT試験を実施した。試験の結果、132名が合格、また書類審査により1名を認定し、延べ307名となった。

③2025年度 災害支援認定診療放射線技師対象フォローアップセミナーを2025年6月20日（金）に開催した（参加者115名）。

E：本会目的達成のための他団体との連携活動等の事業

E.1 関係団体との交流事業（国内）

E.1.1 都道府県技師会との連携

地域医療の推進に向けた診療放射線技師の資質向上を図るため、

（1）全国地区連絡協議会を7月19日（土）に開催した。

（2）全国地区新任責任者会議を7月19日（土）に開催した。

（3）各都道府県技師会と意見交換会を10地区で開催した。（青森県、福島県、富山県、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、香川県、熊本県、鹿児島県）

E.1.2 認定機構等との連携

（1）認定機構へ本会から派遣している理事・委員の合同会議を開催し、認定機構の活動内容の把握を行い理事会にて共有した。

（2）共同認定機構としての大枠を本委員会で議論し、理事会にて報告した。今後はJART-JSRT懇談会や放射線4団体連絡協議会においても相談し、検討を進める。

（3）JJ推進特別委員会は当初の目的を達成したため、2026年度にて活動を終えることとなった。2026年度は、今まで議論してきた内容を報告書にまとめる。

E.1.3 診療放射線技師養成機関との連携

（1）全国診療放射線技師教育施設協議会を10月25日（土）、2026年3月4日（水）に開催し意見交換を行った。

（2）全国の診療放射線技師養成機関の卒業生を対象とした学業優秀賞の授与を執り行った。

E.1.4 診療放射線技師職域団体との連携

診療放射線技師の職域団体を9月27日（土）に開催し16団体25名参加した。

E.1.5 本会承認学会との連携

日本放射線公衆安全学会、日本放射線カウンセリング学会、日本医用画像管理学会および日本放射線技師教育学会と連携し、診療放射線技師の資質向上のため学術大会でシンポジウムを行った。

E.1.6 がん対策に関する放射線治療提供体制の推進のための連携

（1）“IMRT施設基準の見直し”に関する会議の結果として、医療技術評価提案書案の草案作成に協力し提出された。

（2）放射線治療に関する物理技術職の専門資格の在り方について、日本放射線腫瘍学会内に設置された委員会に出席し、継続審議を行っている。

E.1.7 その他、必要な団体との連携

（1）全国診療放射線技師教育施設協議会を更なる連携強化のため年1回から年2回へ変更した。

（2）職能団体として職能の発展のため他団体との会議への参加した。

E.2 関係団体との交流事業（国際）

E.2.1 世界放射線技師会との学術交流

ISRRT World Congress 2026はDubaiで開催される予定であるため国内の会員に向けて広報を行った。しかし、ISRRT World Congressは、世界情勢の影響により開催が延期されており、開催時期等は未定である。

E.2.2 アジア・オーストラレーシア（AACRT）地域との学術交流

（1）第25回AACRT学術大会が2025年6月5日から7日の日程でタイのチェンマイで開催された。また、第12回ARTS（アジア放射線治療シンポジウム）が併せて開催された。国内

の会員に向け広報を行うとともにがん対策委員会と協力して上田会長、児玉副会長、江端業務執行理事を派遣した。なお、前日の6月4日にアジア・オーストラレーシア地区の理事会が開催されるため、同様に役員を派遣した。

E.2.3 東アジア地域との学術交流

東アジア地域の放射線医療技術の向上に努め、第41回日本診療放射線技師学術大会にISRRTの役員2名、各国会長、役員12名の計14名を招聘した。また、国際専門放射線技師認定機構（IABSRT）理事会が12月にタイで開催され、役員を派遣した。

E.2.4 その他、国際学術交流に必要な事業

(1) Asia support fundによる教育支援のため、モンゴルに江藤副会長と江端業務執行理事を講師として派遣し、ベトナムに国際委員の三登将平委員を講師として派遣した。また、アジア地域の継続的専門教育（CPD）である第57回Asia CPDを12月6日に開催した。

(2) 2025年10月KRTA（韓国）の開催した学術大会へ上田会長、児玉副会長、富田副会長を派遣した。

2026年3月TWSRT（台湾）の開催した学術大会へ上田会長、児玉副会長、江藤副会長を派遣した。

E.3 情報システムの構築、整備

- (1) 外部システムであるLMSとCBTを会員情報システムと連携し、認定資格の認定書を会員自ら会員情報システムよりダウンロードできるようにした。
- (2) ホームページと会員情報システムを2026年6月中に更新するため、会議を行った。

S：収益事業等 (その他の事業(相互扶助等の事業))

S.1 表彰に関する事業

次の表彰を行い、診療放射線技師の志気の高揚を図る。

[令和6（2024）年度表彰]

(1) 功労表彰

本会役員功労表彰1名は第41回日本診療放射線技師学術大会にて表彰式を執り行った。地域功労表彰27名については各地域の学術大会等で表彰された。

(2) 永年勤続表彰

50年ならびに30年勤続表彰は第41回日本診療放射線技師学術大会にて表彰式を執り行った。

永年勤続50年表彰 46名

永年勤続30年表彰 322名

(3) 社会活動表彰（江間賞）

10名について第41回日本診療放射線技師学術大会にて表彰式を執り行った。

(4) 学術奨励賞

8名について、第41回日本診療放射線技師学術大会にて表彰式を執り行った。

(5) その他、必要に応じた表彰

1. 養成校の卒業式で学業優秀賞の表彰を57校中48校で執り行った。
2. 会員向けJART無料コンテンツ「JART Plus」採用者の表彰を第41回日本診療放射線技師学術大会にて表彰式を執り行った。

[令和7（2025）年度表彰]

都道府県技師会長より推薦のあった候補者について、表彰委員会の答申をへて、令和7年度第6回理事会（2026年2月21日）にて表彰者が承認された。表彰式は令和8年度に執り行う。

地域功労表彰 24名

永年勤続50年表彰 51名

永年勤続30年表彰 313名

S.2 奨学金制度の推進

1名から申請があり、2025年度第3回理事会を経て貸与を決定した。

S.3 賠償責任保険（全員加入）に関する事業

診療放射線技師賠償責任保険制度の周知を目的として、保険支払い事例を掲載した広報ポスターを作成し、本会ホームページに掲載のうえ会員へ周知した。

S.4 任意加入保険に関する事業

会誌、ネットワークナウ、入会促進パンフレットを通じて広報を行なった。

(2026年3月31日時点加入者数)

項番	区分	加入者数
1	Aプラン	5,270名
2	Bプラン	784名
	合計	6,054名

S.5 無料職業紹介に関する事業

診療放射線技師の再就職等に対応した無料職業紹介の利用施設および紹介者はいなかった。

会員数の推移（平成28（2016）年度～令和7（2025）年度）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31・令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域別 都道府県名	2017.3.31	2018.3.31	2019.3.31	2020.3.31	2021.3.31	2022.3.31	2023.3.31	2024.3.31	2025.3.31	2026.3.31
北海道	1,629	1,659	1,674	1,737	1,718	1,766	1,831	1,847	1,855	1,809
	1,629	1,659	1,674	1,737	1,718	1,766	1,831	1,847	1,855	1,809
東北	青森県	298	302	297	332	320	329	322	337	347
	岩手県	292	300	310	325	323	318	324	329	331
	秋田県	347	356	355	356	352	345	348	340	332
	宮城県	445	460	492	541	532	534	547	539	532
	山形県	365	373	377	383	382	391	387	396	405
	福島県	459	468	481	524	505	507	510	519	531
	小 計	2,206	2,259	2,312	2,461	2,414	2,424	2,438	2,460	2,458
北関東	新潟県	496	477	470	492	480	484	484	505	496
	栃木県	441	478	492	503	491	496	515	511	532
	茨城県	678	695	688	693	681	690	692	702	713
	群馬県	486	504	507	535	535	533	548	560	564
	埼玉県	1,109	1,148	1,193	1,298	1,290	1,327	1,390	1,423	1,491
	小 計	3,210	3,302	3,350	3,521	3,477	3,530	3,629	3,701	3,812
南関東	千葉県	721	772	784	825	816	869	898	951	1,002
	東京都	2,126	2,207	2,288	2,379	2,325	2,362	2,482	2,603	2,737
	神奈川県	1,364	1,380	1,422	1,457	1,458	1,478	1,515	1,559	1,631
	山梨県	193	189	192	199	192	197	198	199	218
	長野県	560	551	557	565	559	573	588	578	602
	小 計	4,964	5,099	5,243	5,425	5,350	5,479	5,681	5,890	6,196
中日本	石川県	313	326	333	347	346	349	366	370	397
	富山県	405	404	403	391	389	394	397	396	394
	福井県	297	300	304	309	310	317	313	325	332
	静岡県	831	846	881	923	908	940	989	1,036	1,100
	愛知県	1,870	1,935	2,004	2,114	2,141	2,188	2,210	2,243	2,331
	岐阜県	679	692	692	724	728	750	767	776	809
	三重県	481	482	486	554	552	573	586	604	622
	小 計	4,876	4,985	5,103	5,362	5,374	5,511	5,628	5,750	5,999
近畿	滋賀県	391	395	404	406	413	412	430	429	428
	京都府	505	511	525	616	614	638	620	590	573
	奈良県	408	430	437	441	429	428	436	442	461
	和歌山県	260	262	257	253	247	244	253	254	257
	大阪府	1,129	1,156	1,187	1,245	1,252	1,261	1,285	1,286	1,330
	兵庫県	1,269	1,280	1,277	1,296	1,250	1,284	1,281	1,300	1,245
	小 計	3,962	4,034	4,087	4,257	4,205	4,267	4,305	4,301	4,288
中四国	岡山県	684	696	700	710	698	704	720	713	722
	広島県	703	734	743	784	772	781	790	795	797
	鳥取県	197	191	198	208	211	213	218	234	232
	島根県	235	243	238	250	248	251	257	254	247
	山口県	477	474	483	481	480	491	489	491	492
	徳島県	170	170	177	177	167	167	163	164	156
	香川県	328	331	320	331	333	336	347	349	359
	愛媛県	373	387	392	415	411	412	424	427	423
	高知県	178	173	172	172	169	178	188	174	170
	小 計	3,345	3,399	3,423	3,528	3,489	3,533	3,596	3,601	3,590
九州	福岡県	1,696	1,707	1,745	1,820	1,812	1,850	1,873	1,891	1,920
	佐賀県	184	191	197	198	203	212	217	220	221
	長崎県	412	425	442	440	443	446	468	461	468
	大分県	351	358	370	381	389	395	405	411	415
	熊本県	455	481	514	570	559	577	602	620	624
	宮崎県	362	369	369	377	380	387	389	379	373
	鹿児島県	489	501	529	569	562	574	596	614	624
	沖縄県	326	347	369	398	398	409	413	423	437
	小 計	4,275	4,379	4,535	4,753	4,746	4,850	4,963	5,019	5,082
県技師会未所属	55	52	52	47	45	44	42	40	39	38
合 計	28,522	29,168	29,779	31,091	30,818	31,404	32,113	32,609	33,404	33,272

都道府県別会員組織率 (会員数 令和8(2026)年3月31日/医療従事者数 令和5(2023)年10月1日)

2026年3月31日

区分	都道府県	2026.3.31現在 会 員 数 (A)	病 院			診 療 所			技師合計 (a)+(b)= (B)	組織率 (A)/(B) %
			診療放射線 技師	診療エック ス線技師	技師計 (a)	診療放射線 技師	診療エック ス線技師	技師計 (b)		
東北	1 北海道	1,809	2,468.4	1.9	2,470.3	537.2	53.2	590.4	3,060.7	59.1%
	2 青森県	347	487.5	0.0	487.5	124.0	7.4	131.4	618.9	56.1%
	3 岩手県	315	415.9	0.0	415.9	79.0	4.3	83.3	499.2	63.1%
	4 秋田県	332	325.9	1.0	326.9	75.6	9.5	85.1	412.0	80.6%
	5 宮城県	532	816.8	0.0	816.8	176.6	12.5	189.1	1,005.9	52.9%
	6 山形県	400	379.3	0.0	379.3	99.9	4.0	103.9	483.2	82.8%
	7 福島県	532	749.9	0.0	749.9	138.3	12.0	150.3	900.2	59.1%
北関東	8 新潟県	496	776.0	0.7	776.7	248.6	12.7	261.3	1,038.0	47.8%
	9 栃木県	548	708.6	0.6	709.2	163.2	17.1	180.3	889.5	61.6%
	10 茨城県	713	1,032.2	32.2	1,064.4	235.2	21.9	257.1	1,321.5	54.0%
	11 群馬県	564	712.7	1.5	714.2	183.6	16.0	199.6	913.8	61.7%
	12 埼玉県	1,491	2,196.6	3.9	2,200.5	569.6	64.2	633.8	2,834.3	52.6%
南関東	13 千葉県	1,002	2,122.8	4.0	2,126.8	427.7	48.8	476.5	2,603.3	38.5%
	14 東京都	2,737	4,682.0	1.7	4,683.7	1,623.7	218.7	1,842.4	6,526.1	41.9%
	15 神奈川県	1,631	2,874.6	1.7	2,876.3	673.2	71.2	744.4	3,620.7	45.0%
	16 山梨県	224	268.4	0.0	268.4	52.1	6.5	58.6	327.0	68.5%
	17 長野県	602	812.3	0.0	812.3	102.1	21.2	123.3	935.6	64.3%
中日本	18 石川県	397	487.1	0.0	487.1	71.0	9.5	80.5	567.6	69.9%
	19 富山県	394	442.6	0.0	442.6	99.5	29.6	129.1	571.7	68.9%
	20 福井県	332	348.4	0.0	348.4	66.0	4.9	70.9	419.3	79.2%
	21 静岡県	1,100	1,243.7	4.0	1,247.7	402.8	31.9	434.7	1,682.4	65.4%
	22 愛知県	2,331	2,575.8	0.1	2,575.9	839.7	79.7	919.4	3,495.3	66.7%
	23 岐阜県	823	763.3	0.0	763.3	201.3	16.7	218.0	981.3	83.9%
	24 三重県	622	625.4	0.0	625.4	169.1	13.7	182.8	808.2	77.0%
	25 滋賀県	428	464.4	1.0	465.4	92.4	10.7	103.1	568.5	75.3%
近畿	26 京都府	573	1,049.5	0.0	1,049.5	168.7	21.5	190.2	1,239.7	46.2%
	27 奈良県	461	600.8	0.0	600.8	82.0	5.5	87.5	688.3	67.0%
	28 和歌山県	257	386.5	1.0	387.5	80.9	19.0	99.9	487.4	52.7%
	29 大阪府	1,324	3,328.7	3.6	3,332.3	793.3	106.8	900.1	4,232.4	31.3%
	30 兵庫県	1,245	2,022.3	3.1	2,025.4	397.6	51.0	448.6	2,474.0	50.3%
中四国	31 岡山県	722	855.7	1.2	856.9	187.7	10.5	198.2	1,055.1	68.4%
	32 広島県	797	1,009.1	0.8	1,009.9	310.9	13.1	324.0	1,333.9	59.7%
	33 鳥取県	232	211.6	1.0	212.6	42.3	4.0	46.3	258.9	89.6%
	34 島根県	247	276.3	1.0	277.3	37.6	3.6	41.2	318.5	77.6%
	35 山口県	484	548.1	0.0	548.1	78.6	14.2	92.8	640.9	75.5%
	36 徳島県	156	361.9	0.0	361.9	42.0	3.6	45.6	407.5	38.3%
	37 香川県	359	389.3	0.0	389.3	80.8	6.1	86.9	476.2	75.4%
	38 愛媛県	423	547.2	0.0	547.2	89.8	10.4	100.2	647.4	65.3%
	39 高知県	170	311.9	1.8	313.7	45.4	2.6	48.0	361.7	47.0%
九州	40 福岡県	1,920	2,274.5	0.0	2,274.5	407.1	32.8	439.9	2,714.4	70.7%
	41 佐賀県	221	323.3	0.0	323.3	84.1	3.1	87.2	410.5	53.8%
	42 長崎県	468	556.9	1.0	557.9	94.8	15.6	110.4	668.3	70.0%
	43 大分県	415	477.3	0.0	477.3	121.7	13.9	135.6	612.9	67.7%
	44 熊本県	624	764.4	0.0	764.4	163.1	18.0	181.1	945.5	66.0%
	45 宮崎県	373	357.5	2.8	360.3	103.9	10.4	114.3	474.6	78.6%
	46 鹿児島県	624	797.8	4.0	801.8	238.0	10.5	248.5	1,050.3	59.4%
	47 沖縄県	437	563.4	1.0	564.4	110.4	7.2	117.6	682.0	64.1%
	48 その他	38	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計		33,272	46,794.6	76.6	46,871.2	11,212.1	1,181.3	12,393.4	59,264.6	56.1%

※ 1 「その他」欄の会員は、日本診療放射線技師会のみに参加し、都道府県の会員とはなっていない。

※ 2 医療従事者数は、厚生労働省2023年度「医療施設調査」が「病院報告」として、2024年11月22日に厚生省Webサイトにアップされたもので、この最新版「医療施設調査」の「従事者の状況」から引用した。

なお、この医療施設調査は、開設・廃止等を毎月報告する動態調査と、3年ごとの静態調査により構成され、静態調査には「医療従事者の数及びその勤務状況」が調査項目となっている。

令和7(2025)年度 各種講習会・セミナー等実施報告

A.1.1 (1) 1) クリニカルラダーLv1

2026年3月31日現在

ID	種別	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	CL1	感染対策	2025/6/20～2026/3/1	LMS	953	749
2	CL1	エチケット・マナー	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,090	871
3	CL1	医療コミュニケーション	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,016	802
4	CL1	被ばく低減	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,060	816
5	CL1	医療安全学	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,025	872
6	CL1	救急医療学	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,034	755
7	CL1	看護学	2025/6/20～2026/3/1	LMS	898	664
8	CL1	医療社会倫理学	2025/6/20～2026/3/1	LMS	915	636
9	CL1	自己教育・研究支援	2025/6/20～2026/3/1	LMS	875	680
10	CL1	研究倫理指針	2025/6/20～2026/3/1	LMS	836	657
計					9,702	7,502

A.1.1 (1) 2) クリニカルラダーLv2

ID	種別	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	CL2	エックス線撮影	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,355	774
2	CL2	X線CT検査	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,566	823
3	CL2	消化管撮影	2025/6/20～2026/3/1	LMS	997	628
4	CL2	乳房撮影	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,104	702
5	CL2	血管造影・IVR	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,101	685
6	CL2	MRI検査	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,607	827
7	CL2	核医学検査	2025/6/20～2026/3/1	LMS	898	561
8	CL2	放射線治療	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,007	615
9	CL2	超音波検査	2025/6/20～2026/3/1	LMS	981	652
10	CL2	眼底カメラ検査	2025/6/20～2026/3/1	LMS	809	626
11	CL2	骨塩定量検査	2025/6/20～2026/3/1	LMS	1,022	635
計					12,447	7,528

A.1.1 (1) 3) クリニカルラダーLv3

ID	種別	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	CL3	エックス線撮影	2025/7/18～2026/3/1	LMS	907	421
2	CL3	X線CT検査	未開催	LMS		
3	CL3	消化管撮影検査	2025/7/18～2026/3/1	LMS	514	280
4	CL3	乳房撮影	2025/11/18～2026/3/1	LMS	494	248
5	CL3	血管造影・IVR	未開催	LMS		
6	CL3	MRI検査	未開催	LMS		
7	CL3	核医学検査	未開催	LMS		
8	CL3	放射線治療	2025/7/18～2026/3/1	LMS	506	257
9	CL3	超音波検査	2025/7/18～2026/3/1	LMS	482	244
10	CL3	骨塩定量検査	2025/7/18～2026/3/1	LMS	594	318
11	CL3	検査説明	2025/7/18～2026/3/1	LMS	629	382
計					4,126	2,150

* 1 視聴用動画コンテンツ準備段階のため未開催

A.1.1 (2) マネジメントラダー

ID	種別	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	ML3	オンライン(マネジメントラダーレベル3)	2025/7/18～2026/3/1	LMS	671	435
2	ML4	オンライン(マネジメントラダーレベル4)	2025/7/18～2026/3/1	LMS	420	279
3	ML5	オンライン(マネジメントラダーレベル5)	2025/7/18～2026/3/1	LMS	368	217
4	ML3	マネジメント研修会(レベル3)	2026/1/17	Web	26	14
5	ML4	マネジメント研修会(レベル4)	2026/1/18	Web	25	10
計					1,510	955

A.1.2 放射線取扱主任者定期講習会

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	2025年度第1回定期講習会	2025/10/17	東京都	12	12
2	2025年度第2回定期講習会	2025/12/19	東京都	33	33
3	2025年度第3回定期講習会	2026/2/20	東京都	32	32
計				77	77

A.1.3 (1) フレッシュャーズセミナー(都道府県開催)

ID	イベント名	開催日	開催場所	開催形式	受講者 (新人)
1	フレッシュャーズセミナー	2025/4/20	群馬県	会場	11
2	フレッシュャーズセミナー	2025/4/26	佐賀県	会場	9
3	フレッシュャーズセミナー	2025/5/11	茨城県	会場	32
4	フレッシュャーズセミナー	2025/5/18	和歌山県	会場	10
5	フレッシュャーズセミナー	2025/5/18	滋賀県	会場	17
6	フレッシュャーズセミナー	2025/5/18	徳島県	web(ライブ)	3
7	フレッシュャーズセミナー	2025/5/18	埼玉県	会場	59
8	フレッシュャーズセミナー	2025/5/24	福岡県	会場	23
9	フレッシュャーズセミナー	2025/5/25	東京都①	web(ライブ)	66
10	フレッシュャーズセミナー	2025/6/1	千葉県	会場	35
11	フレッシュャーズセミナー	2025/6/7	山形県	会場	11
12	フレッシュャーズセミナー	2025/6/8	愛媛県	会場	13
13	フレッシュャーズセミナー	2025/6/8	岩手県	ハイブリッド	10
14	フレッシュャーズセミナー	2025/6/14	富山県	会場	13
15	フレッシュャーズセミナー	2025/6/14	青森県	会場	12
16	フレッシュャーズセミナー	2025/6/15	大阪府	会場	75
17	フレッシュャーズセミナー	2025/6/15	栃木県	会場	36
18	フレッシュャーズセミナー	2025/6/15	東京都②	web(ライブ)	61
19	フレッシュャーズセミナー	2025/6/21	新潟県	ハイブリッド	31
20	フレッシュャーズセミナー	2025/6/21	奈良県	会場	19
21	フレッシュャーズセミナー	2025/6/21	熊本県	会場	28
22	フレッシュャーズセミナー	2025/6/22	鹿児島県	ハイブリッド	12
23	フレッシュャーズセミナー	2025/6/27・29	長崎県	ハイブリッド	21
24	フレッシュャーズセミナー	2025/6/28	香川県	会場	13
25	フレッシュャーズセミナー	2025/6/28	北海道	会場	40
26	フレッシュャーズセミナー	2025/6/29	京都府	会場	31
27	フレッシュャーズセミナー	2025/7/5	宮城県	会場	33
28	フレッシュャーズセミナー	2025/7/5	福井県	会場	6
29	フレッシュャーズセミナー	2025/7/5	宮崎県	会場	10
30	フレッシュャーズセミナー	2025/7/5	兵庫県	会場	42

31	フレッシュャーズセミナー	2025/7/6	愛知県	会場	79
32	フレッシュャーズセミナー	2025/7/12	石川県	会場	13
33	フレッシュャーズセミナー	2025/7/12	大分県	会場	15
34	フレッシュャーズセミナー	2025/7/12	岡山県	会場	25
35	フレッシュャーズセミナー	2025/7/13	三重県	会場	19
36	フレッシュャーズセミナー	2025/7/19	高知県	会場	6
37	フレッシュャーズセミナー	2025/7/19	山梨県	会場	14
38	フレッシュャーズセミナー	2025/7/20	岐阜県	会場	36
39	フレッシュャーズセミナー	2025/7/26	長野県	ハイブリッド	14
40	フレッシュャーズセミナー	2025/7/26	島根県	会場	9
41	フレッシュャーズセミナー	2025/7/27	山口県	会場	22
42	フレッシュャーズセミナー	2025/8/3	福島県	会場	28
43	フレッシュャーズセミナー	2025/8/23	秋田県	ハイブリッド	11
44	フレッシュャーズセミナー	2025/8/24	沖縄県	会場	21
45	フレッシュャーズセミナー	2025/8/24	神奈川県	会場	34
46	フレッシュャーズセミナー	2025/8/30	鳥取県	会場	8
47	フレッシュャーズセミナー	2025/8/31	広島県	会場	26
48	フレッシュャーズセミナー	2025/9/7	静岡県	会場	16
計					1,178

A.1.3 倫理に関するオンライン教育

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー	2022/11/21～ 2027/3/31	LMS	1,379	888
計				1,379	888

A.1.3 (2) その他放射線診療の資質の向上に関する講習会の開催

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	2025年度消化管造影セミナー	2025/6/20	Web	150	103
2	2025年度第1回 エックス線撮影WG ハンズオンセミナー（ハイブリッド）会場	2025/6/28	京都府	10	10
3	2025年度第1回 エックス線撮影WG ハンズオンセミナー（ハイブリッド）Web	2025/6/28	Web	220	108
4	2025年度第1回 IGRT Webセミナー	2025/9/28	Web	200	140
5	【会場参加】2025年度生涯教育セミナー （放射線治療計画・基礎編）	2025/11/1	大阪府	10	9
6	【Web参加】2025年度生涯教育セミナー （放射線治療計画・基礎編）	2025/11/1	Web	161	68
7	【会場参加】2025年度生涯教育セミナー （放射線治療計画・応用編）	2026/1/17	大阪府	8	8
8	【Web参加】2025年度生涯教育セミナー （放射線治療計画・応用編）	2026/1/17	Web	151	67
9	2025年度第2回 エックス線撮影WG セミナー（Web）	2026/1/20	Web	100	56
10	2025年度第3回 エックス線撮影WG セミナー（Web）	2026/2/6	Web	200	114
11	【会場参加】2025年度生涯教育セミナー （SGRT実践編）	2026/2/22	栃木県	10	8
12	【Web参加】2025年度生涯教育セミナー （SGRT実践編）	2026/2/22	Web	152	61
計				1,372	752

A.2.2 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会公開合同学術セミナー

ID	イベント名	開催日	開催場所	参加者
1	2025年度 JJ合同公開セミナー	2025/9/28	名古屋市立 大学病院	229
計				229

A.3.2 業務拡大に伴う統一講習会

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	業務拡大に伴う統一講習会	2025/12/20～21	宮城県	44	42
2	業務拡大に伴う統一講習会	2026/1/24～25	大阪府	18	18
計				62	60

A.3.2 告示研修（基礎研修）

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	告示研修（基礎研修）	2021/7/31～	etudes	47,043	42,296
合計				47,043	42,296

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者	
1	告示研修（実技研修）	2025/5/10	茨城県	48	47	
2	告示研修（実技研修）	2025/5/10	神奈川県	47	45	
3	告示研修（実技研修）	2025/5/10	東京都	46	45	
4	告示研修（実技研修）	2025/5/11	茨城県	45	45	
5	告示研修（実技研修）	2025/5/11	神奈川県	47	45	
6	告示研修（実技研修）	2025/5/11	東京都	47	46	
7	告示研修（実技研修）	2025/5/17	山梨県	46	45	
8	告示研修（実技研修）	2025/5/17	千葉県	45	45	
9	告示研修（実技研修）	2025/5/17	北海道	46	46	
10	告示研修（実技研修）	2025/5/18	山梨県	37	37	
11	告示研修（実技研修）	2025/5/18	千葉県	46	46	
12	告示研修（実技研修）	2025/5/18	北海道	43	43	
13	告示研修（実技研修）	2025/5/24	兵庫県	39	39	
14	告示研修（実技研修）	2025/5/25	鹿児島県	30	30	
15	告示研修（実技研修）	2025/5/25	兵庫県	36	36	
16	告示研修（実技研修）	2025/5/31	愛知県	46	46	
17	告示研修（実技研修）	2025/5/31	福岡県	46	45	
18	告示研修（実技研修）	2025/6/1	愛知県	45	45	
19	告示研修（実技研修）	2025/6/1	広島県	43	43	
20	告示研修（実技研修）	2025/6/1	福岡県	47	46	
21	告示研修（実技研修）	2025/6/7	山口県	44	43	
22	告示研修（実技研修）	2025/6/8	山口県	8	中止	（※2）
23	告示研修（実技研修）	2025/6/15	長野県	46	46	
24	告示研修（実技研修）	2025/6/21	宮崎県	8	中止	（※2）
25	告示研修（実技研修）	2025/6/21	宮城県	31	31	
26	告示研修（実技研修）	2025/6/21	埼玉県	46	46	
27	告示研修（実技研修）	2025/6/21	三重県	41	40	
28	告示研修（実技研修）	2025/6/22	宮崎県	5	中止	（※2）
29	告示研修（実技研修）	2025/6/22	埼玉県	47	47	
30	告示研修（実技研修）	2025/6/22	三重県	38	38	
31	告示研修（実技研修）	2025/6/28	岡山県	29	29	

* 2 最小実施人数(16名)に満たないため中止

32	告示研修（実技研修）	2025/6/28	佐賀県	17	17	
33	告示研修（実技研修）	2025/6/28	新潟県	25	24	
34	告示研修（実技研修）	2025/6/28	静岡県	43	43	
35	告示研修（実技研修）	2025/6/28	大阪府	46	45	
36	告示研修（実技研修）	2025/6/28	大分県	25	25	
37	告示研修（実技研修）	2025/6/28～29	沖縄県	9	9	(※3)
38	告示研修（実技研修）	2025/6/29	岡山県	23	23	
39	告示研修（実技研修）	2025/6/29	熊本県	29	29	
40	告示研修（実技研修）	2025/6/29	静岡県	19	19	
41	告示研修（実技研修）	2025/6/29	大阪府	45	45	
42	告示研修（実技研修）	2025/6/29	大分県	3	中止	(※2)
43	告示研修（実技研修）	2025/7/5	奈良県	46	46	
44	告示研修（実技研修）	2025/7/5	富山県	30	30	
45	告示研修（実技研修）	2025/7/5	北海道	26	26	
46	告示研修（実技研修）	2025/7/6	奈良県	46	46	
47	告示研修（実技研修）	2025/7/6	北海道	9	中止	(※2)
48	告示研修（実技研修）	2025/7/12～13	長崎県	15	15	(※4)
49	告示研修（実技研修）	2025/7/13	沖縄県	44	43	
50	告示研修（実技研修）	2025/7/13	島根県	28	28	
51	告示研修（実技研修）	2025/7/19	京都府	48	48	
52	告示研修（実技研修）	2025/7/19	神奈川県	46	45	
53	告示研修（実技研修）	2025/7/19	鳥取県	27	27	
54	告示研修（実技研修）	2025/7/19	東京都	47	46	
55	告示研修（実技研修）	2025/7/19	兵庫県	24	24	
56	告示研修（実技研修）	2025/7/20	京都府	33	33	
57	告示研修（実技研修）	2025/7/20	神奈川県	48	48	
58	告示研修（実技研修）	2025/7/20	千葉県	46	46	
59	告示研修（実技研修）	2025/7/20	鳥取県	6	中止	(※2)
60	告示研修（実技研修）	2025/7/20	東京都	46	46	
61	告示研修（実技研修）	2025/7/20	兵庫県	29	29	
62	告示研修（実技研修）	2025/7/21	千葉県	47	47	
63	告示研修（実技研修）	2025/7/26	群馬県	47	47	
64	告示研修（実技研修）	2025/7/26	滋賀県	38	38	
65	告示研修（実技研修）	2025/7/26	静岡県	29	28	
66	告示研修（実技研修）	2025/7/26	石川県	35	35	
67	告示研修（実技研修）	2025/7/26	福岡県	47	46	
68	告示研修（実技研修）	2025/7/27	群馬県	47	47	
69	告示研修（実技研修）	2025/7/27	滋賀県	14	中止	(※2)
70	告示研修（実技研修）	2025/7/27	静岡県	16	16	
71	告示研修（実技研修）	2025/7/27	徳島県	21	21	
72	告示研修（実技研修）	2025/7/27	栃木県	48	48	
73	告示研修（実技研修）	2025/7/27	福岡県	28	27	
74	告示研修（実技研修）	2025/8/2	宮城県	30	30	
75	告示研修（実技研修）	2025/8/2	広島県	25	25	
76	告示研修（実技研修）	2025/8/2	埼玉県	46	46	
77	告示研修（実技研修）	2025/8/3	熊本県	16	16	
78	告示研修（実技研修）	2025/8/3	広島県	22	22	
79	告示研修（実技研修）	2025/8/3	埼玉県	46	46	
80	告示研修（実技研修）	2025/8/10	岐阜県	41	40	

※ 2 最小実施人数(16名)に満たないため中止 ※ 3 前年度台風により中止したため学習機会確保の観点から開催

※ 4 自治体からの要請があったため開催

81	告示研修（実技研修）	2025/8/11	岐阜県	29	27	
82	告示研修（実技研修）	2025/8/17	鹿児島県	33	33	
83	告示研修（実技研修）	2025/8/23	福島県	29	29	
84	告示研修（実技研修）	2025/8/24	北海道	31	30	
85	告示研修（実技研修）	2025/8/24	福島県	13	中止	(※2)
86	告示研修（実技研修）	2025/8/30	滋賀県	31	31	
87	告示研修（実技研修）	2025/8/30	神奈川県	46	46	
88	告示研修（実技研修）	2025/8/30	大分県	18	17	
89	告示研修（実技研修）	2025/8/30	和歌山県	22	21	
90	告示研修（実技研修）	2025/8/31	滋賀県	26	26	
91	告示研修（実技研修）	2025/8/31	神奈川県	46	46	
92	告示研修（実技研修）	2025/8/31	栃木県	37	37	
93	告示研修（実技研修）	2025/8/31	大分県	2	中止	(※2)
94	告示研修（実技研修）	2025/8/31	和歌山県	19	18	
95	告示研修（実技研修）	2025/9/6	埼玉県	47	46	
96	告示研修（実技研修）	2025/9/6	山梨県	15	中止	(※2)
97	告示研修（実技研修）	2025/9/6	東京都	47	47	
98	告示研修（実技研修）	2025/9/6	北海道	26	26	
99	告示研修（実技研修）	2025/9/7	埼玉県	48	48	
100	告示研修（実技研修）	2025/9/7	山梨県	10	中止	(※2)
101	告示研修（実技研修）	2025/9/7	東京都	47	47	
102	告示研修（実技研修）	2025/9/20	愛知県	29	29	
103	告示研修（実技研修）	2025/9/20	宮城県	31	31	
104	告示研修（実技研修）	2025/9/21	愛知県	21	20	
105	告示研修（実技研修）	2025/9/21	沖縄県	21	21	
106	告示研修（実技研修）	2025/9/21	長野県	47	47	
107	告示研修（実技研修）	2025/9/21	栃木県	34	33	
108	告示研修（実技研修）	2025/9/23	愛媛県	44	44	
109	告示研修（実技研修）	2025/9/27	茨城県	48	47	
110	告示研修（実技研修）	2025/9/27	宮崎県	29	29	
111	告示研修（実技研修）	2025/9/27	香川県	19	19	
112	告示研修（実技研修）	2025/9/27	山形県	22	22	
113	告示研修（実技研修）	2025/9/27	秋田県	28	28	
114	告示研修（実技研修）	2025/9/27	石川県	46	46	
115	告示研修（実技研修）	2025/9/27	千葉県	48	48	
116	告示研修（実技研修）	2025/9/27	大阪府	48	46	
117	告示研修（実技研修）	2025/9/27	福岡県	27	26	
118	告示研修（実技研修）	2025/9/27	兵庫県	21	21	
119	告示研修（実技研修）	2025/9/28	茨城県	35	35	
120	告示研修（実技研修）	2025/9/28	宮崎県	募集せず	中止	(※2)
121	告示研修（実技研修）	2025/9/28	山形県	17	17	
122	告示研修（実技研修）	2025/9/28	秋田県	5	中止	(※2)
123	告示研修（実技研修）	2025/9/28	千葉県	48	47	
124	告示研修（実技研修）	2025/9/28	大阪府	28	28	
125	告示研修（実技研修）	2025/9/28	福岡県	12	中止	(※2)
126	告示研修（実技研修）	2025/9/28	兵庫県	8	中止	(※2)
127	告示研修（実技研修）	2025/10/4	岡山県	18	18	
128	告示研修（実技研修）	2025/10/4	埼玉県	48	47	
129	告示研修（実技研修）	2025/10/4	神奈川県	48	48	

* 2 最小実施人数(16名)に満たないため中止

130	告示研修（実技研修）	2025/10/4	大分県	12	中止	(※2)
131	告示研修（実技研修）	2025/10/5	岡山県	9	中止	(※2)
132	告示研修（実技研修）	2025/10/5	埼玉県	46	46	
133	告示研修（実技研修）	2025/10/5	神奈川県	47	47	
134	告示研修（実技研修）	2025/10/5	大分県	0	中止	(※2)
135	告示研修（実技研修）	2025/10/5	北海道	35	35	
136	告示研修（実技研修）	2025/10/12	高知県	3	中止	(※2)
137	告示研修（実技研修）	2025/10/18	愛知県	46	45	
138	告示研修（実技研修）	2025/10/18	新潟県	19	18	
139	告示研修（実技研修）	2025/10/18	静岡県	28	28	
140	告示研修（実技研修）	2025/10/19	愛知県	40	40	
141	告示研修（実技研修）	2025/10/19	静岡県	13	中止	(※2)
142	告示研修（実技研修）	2025/10/26	栃木県	34	34	
143	告示研修（実技研修）	2025/11/1	兵庫県	43	43	
144	告示研修（実技研修）	2025/11/2	千葉県	46	46	
145	告示研修（実技研修）	2025/11/2	兵庫県	46	46	
146	告示研修（実技研修）	2025/11/3	千葉県	47	47	
147	告示研修（実技研修）	2025/11/8	福岡県	48	48	
148	告示研修（実技研修）	2025/11/8	北海道	23	23	
149	告示研修（実技研修）	2025/11/9	沖縄県	11	中止	(※2)
150	告示研修（実技研修）	2025/11/9	熊本県	19	19	
151	告示研修（実技研修）	2025/11/9	栃木県	25	25	
152	告示研修（実技研修）	2025/11/9	福岡県	46	46	
153	告示研修（実技研修）	2025/11/15	京都府	35	35	
154	告示研修（実技研修）	2025/11/15	広島県	48	47	
155	告示研修（実技研修）	2025/11/15	新潟県	20	20	
156	告示研修（実技研修）	2025/11/16	京都府	12	中止	(※2)
157	告示研修（実技研修）	2025/11/22	静岡県	15	中止	(※2)
158	告示研修（実技研修）	2025/11/22	福井県	15	中止	(※2)
159	告示研修（実技研修）	2025/11/23	静岡県	23	23	
160	告示研修（実技研修）	2025/11/23	東京都	48	47	
161	告示研修（実技研修）	2025/11/24	東京都	47	47	
162	告示研修（実技研修）	2025/11/30	北海道	19	19	
163	告示研修（実技研修）	2025/12/7	鹿児島県	33	33	
164	告示研修（実技研修）	2025/12/7	秋田県	9	中止	(※2)
165	告示研修（実技研修）	2025/12/13	愛媛県	17	17	
166	告示研修（実技研修）	2025/12/13	山口県	40	40	
167	告示研修（実技研修）	2025/12/13	大阪府	31	31	
168	告示研修（実技研修）	2025/12/14	大阪府	32	32	
169	告示研修（実技研修）	2025/12/14	神奈川県	47	46	
170	告示研修（実技研修）	2025/12/20	神奈川県	48	47	
171	告示研修（実技研修）	2025/12/20	愛知県	30	29	
172	告示研修（実技研修）	2025/12/20	岐阜県	22	21	
173	告示研修（実技研修）	2025/12/20	埼玉県	47	47	
174	告示研修（実技研修）	2025/12/20	山形県	22	22	
175	告示研修（実技研修）	2025/12/20	奈良県	18	17	
176	告示研修（実技研修）	2025/12/21	岐阜県	25	25	
177	告示研修（実技研修）	2025/12/21	埼玉県	48	46	
178	告示研修（実技研修）	2025/12/21	奈良県	21	21	

* 2 最小実施人数(16名)に満たないため中止

179	告示研修（実技研修）	2025/12/21	徳島県	18	18	
180	告示研修（実技研修）	2025/12/27	兵庫県	37	37	
181	告示研修（実技研修）	2025/12/28	兵庫県	26	26	
182	告示研修（実技研修）	2026/1/17	愛知県	33	33	
183	告示研修（実技研修）	2026/1/17	宮崎県	11	中止	(※2)
184	告示研修（実技研修）	2026/1/17	山梨県	22	22	
185	告示研修（実技研修）	2026/1/17	東京都	48	48	
186	告示研修（実技研修）	2026/1/18	愛知県	36	36	
187	告示研修（実技研修）	2026/1/18	山梨県	6	中止	(※2)
188	告示研修（実技研修）	2026/1/18	東京都	47	47	
189	告示研修（実技研修）	2026/1/18	熊本県	30	30	
190	告示研修（実技研修）	2026/1/24	群馬県	48	48	
191	告示研修（実技研修）	2026/1/24	静岡県	23	23	
192	告示研修（実技研修）	2026/1/24	千葉県	47	47	
193	告示研修（実技研修）	2026/1/24	福岡県	48	48	
194	告示研修（実技研修）	2026/1/24	群馬県	46	45	
195	告示研修（実技研修）	2026/1/25	静岡県	2	中止	(※2)
196	告示研修（実技研修）	2026/1/25	千葉県	47	47	
197	告示研修（実技研修）	2026/1/25	福岡県	48	48	
198	告示研修（実技研修）	2026/1/25	沖縄県	25	25	
199	告示研修（実技研修）	2026/1/31	宮城県	32	32	
200	告示研修（実技研修）	2026/1/31	北海道	47	47	
201	告示研修（実技研修）	2026/1/31	和歌山県	13	中止	(※2)
202	告示研修（実技研修）	2026/2/1	熊本県	31	31	
203	告示研修（実技研修）	2026/2/1	高知県	6	中止	(※2)
204	告示研修（実技研修）	2026/2/1	和歌山県	14	中止	(※2)
205	告示研修（実技研修）	2026/2/7	茨城県	33	33	
206	告示研修（実技研修）	2026/2/7	香川県	15	中止	(※2)
207	告示研修（実技研修）	2026/2/7	大阪府	31	31	
208	告示研修（実技研修）	2026/2/7	大分県	32	32	
209	告示研修（実技研修）	2026/2/7	東京都	47	47	
210	告示研修（実技研修）	2026/2/8	茨城県	31	31	
211	告示研修（実技研修）	2026/2/8	大阪府	30	30	
212	告示研修（実技研修）	2026/2/8	大分県	32	32	
213	告示研修（実技研修）	2026/2/8	東京都	47	47	
214	告示研修（実技研修）	2026/2/14	新潟県	23	23	
215	告示研修（実技研修）	2026/2/14	神奈川県	48	48	
216	告示研修（実技研修）	2026/2/14	長野県	43	43	
217	告示研修（実技研修）	2026/2/15	新潟県	25	25	
218	告示研修（実技研修）	2026/2/15	神奈川県	47	47	
219	告示研修（実技研修）	2026/2/15	長野県	31	31	
220	告示研修（実技研修）	2026/2/15	青森県	40	40	
221	告示研修（実技研修）	2026/2/21	愛知県	47	47	
222	告示研修（実技研修）	2026/2/21	岡山県	48	48	
223	告示研修（実技研修）	2026/2/21	広島県	46	46	
224	告示研修（実技研修）	2026/2/22	愛知県	4	中止	(※2)
225	告示研修（実技研修）	2026/2/22	岡山県	5	中止	(※2)
226	告示研修（実技研修）	2026/2/22	広島県	38	38	
227	告示研修（実技研修）	2026/2/22	北海道	47	47	

* 2 最小実施人数(16名)に満たないため中止

228	告示研修（実技研修）	2026/2/28	宮城県	30	30
229	告示研修（実技研修）	2026/2/28	佐賀県	48	48
計				7,358	7,017

A.4.2 がん医療

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	2025年度治療を“選ぶ”医療へ～Shared Decision Making (SDM) に関わるには～	2025/11/16	Web	100	43
2	2025年度がん医療の均てん化に向けた放射線治療セミナー（基礎編）	2026/1/25	Web	200	144
計				300	187

C.1.1 医療安全管理者養成研修

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	医療安全管理者養成研修	2026/2/8	Web	32	32
計				32	32

C.1.1 医療放射線安全管理責任者講習会

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	医療放射線安全管理責任者講習会	2025/10/14～2026/3/1	LMS	656	410
計				656	410

C.1.1 診療用放射線の安全管理のための研修について（在宅）

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修（A）	2025/7/18～2026/3/1	LMS	705	481
2	放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修（B）	2025/7/18～2026/3/1	LMS	1	0
3	放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修（C）	2025/7/18～2026/3/1	LMS	268	199
4	放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修（D）	2025/7/18～2026/3/1	LMS	1	0
計				975	680

C.1.1 ディスプレイ精度管理セミナー

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	画像診断用ディスプレイの精度管理セミナー	2025/9/6	Web	53	47
計				53	47

C.4.1 STAT画像所見報告委員会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	第1回seminar	2025/11/7	Web	938	572
2	第2回seminar	2025/12/2	Web	928	546
3	第3回seminar	2026/1/26	Web	1,000	598
計				2,866	1,716

D.1.2 医療画像情報精度管理士分科会

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	第1回医療画像情報精度管理士セミナー	2026/2/19	Web	379	199
計				379	199

D.1.2 画像等手術支援分科会

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	受験者
1	第1回画像等手術支援分科会 3Dハンズ オンスキルアップセミナー（初級編）	2025/9/28	東京都	24	23
2	第2回画像等手術支援分科会 3Dハンズ オンスキルアップセミナー（初級編）	2026/1/18	東京都	12	11
計				36	34

D.1.2 放射線被ばく相談員分科会

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	第1回放射線被ばく相談員フォローア ップ講習会	2025/8/24	Web	200	200
2	第1回放射線被ばく相談員講習会	2025/6/15	Web	48	42
3	第2回放射線被ばく相談員講習会	2025/12/14	Web	54	51
計				302	293

D.1.2 災害支援診療放射線技師分科会

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	第1回災害支援認定診療放射線技師 フォローアップセミナー	2025/6/20	Web	179	100
計				179	100

D.1.2 認定講習

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者
1	2025年度医療画像情報精度管理士認定講習	2025/6/23～2026/1/17	LMS	558	228
2	2025年度放射線管理士認定講習	2025/6/23～2026/1/17	LMS	1,047	687
3	2025年度放射線機器管理士認定講習	2025/6/23～2026/1/17	LMS	758	415
4	2025年度臨床実習指導教員認定講習	2025/6/23～2026/1/17	LMS	260	226
5	2025年度放射線被ばく相談員認定講習	2025/6/23～2026/1/17	LMS	146	129
6	2025年度画像等手術支援認定診療放射線技師認定講習	2025/6/23～2026/1/17	LMS	701	399
7	2025年度災害支援認定診療放射線技師認定講習	2025/6/23～2026/1/17	LMS	533	302
計				4,003	2,386

D.1.2 認定試験

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	受験者	合格者
1	2025年度医療画像情報精度管理士	2025/8/8～ 2026/1/18	CBTS	129	123	93
2	2025年度放射線管理士	2025/8/8～ 2026/1/18	CBTS	479	462	428
3	2025年度放射線機器管理士	2025/8/8～ 2026/1/18	CBTS	271	264	181
4	2025年度臨床実習指導教員	2025/8/8～ 2026/1/18	CBTS	201	197	194
5	2025年度放射線被ばく相談員	2025/8/8～ 2026/1/18	CBTS	119	117	112
6	2025年度画像等手術支援認定診療放射線技師	2025/8/8～ 2026/1/18	CBTS	227	223	212
7	2025年度災害支援認定診療放射線技師	2025/8/8～ 2026/1/18	CBTS	137	133	132
計				1,563	1,519	1,352

D.1.2 認定資格更新講習

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	修了者	
1	2025年度医療画像情報精度管理士資格更新講習会	2025/10/1～2026/2/28	LMS	419	398	
2	2025年度放射線管理士資格更新講習会	2025/10/1～2026/2/28	LMS	184	180	
3	2025年度放射線機器管理士資格更新講習会	2025/10/1～2026/2/28	LMS	179	172	
4	2025年度臨床実習指導教員資格更新講習会	2025/10/1～2026/2/28	LMS	130	128	
5	2025年度放射線被ばく相談員資格更新講習会	2025/10/1～2026/2/28	LMS	34	31	
6	2025年度画像等手術支援認定更新講習会	開催無	LMS			(※5)
7	2025年度災害支援認定更新講習会	開催無	LMS			(※5)
8	2025年度Ai認定診療放射線技師更新講習会	2025/10/1～2026/2/28	LMS	68	66	
計				1,014	975	

* 5 該当する更新対象者がいないため

E.2.1 世界放射線技師会との学術交流

ID	イベント名	開催日	開催場所	申込者	受験者	合格者
1	2025年度 国際認定試験「MRI」	2025/8/24	自宅	7	7	6
2	2025年度 国際認定試験「医療画像情報精度管理士」	2025/8/24	自宅	8	8	6
計				15	15	12

認定資格情報（2025年度）

ID	資格名	2025/4/1 認定者数 (a)	うち2025年度 更新対象者数 (b)	うち2025年度 更新者数 (c)	2025年度 新規認定者数 (d)	2026/4/1 認定者数 (e) =a-b+c+d	2005年度比 (f) =e-a
1	放射線機器管理士	3,051	251	172	181	3,153	102
2	放射線管理士	3,656	271	180	428	3,993	337
3	医療画像情報精度管理士	1,617	609	398	93	1,499	△118
4	臨床実習指導教員	1,662	173	128	194	1,811	149
5	放射線被ばく相談員	655	44	31	112	754	99
6	災害支援認定診療放射線技師	174	0	0	133	307	133
7	画像等手術支援認定診療放射線技師	1,477	0	0	212	1,689	212
8	オートプシー・イメージング 認定診療放射線技師	1,185	134	74	0	1,125	△60